



西風

西諫早としょかんだより【No.306】

■ 2022年11月号 ■

スマートフォン用



〒854-0074 諫早市山川町 1-3

諫早市立西諫早図書館

HP: <https://www.lib.isahaya.nagasaki.jp/>

TEL: 0957 (26) 8607 FAX: 0957 (26) 8250

講座案内



☆☆ 実用書実践活用講座開催 ☆☆☆

多肉植物のある暮らし

初心者
大歓迎!

11/15(火)・11/16(水) 13:30~15:30

※ 同じ内容で2回開催

☆場 所: 西諫早公民館 3階 第1講座室

☆定 員: 10名 ※要申込み

西諫早図書館カウンター

またはお電話で ☎ (26) 8607

☆講 師: 松井商店 松井 豊さん (干拓の里よかもん市)

☆参加費: 1,500円 (多肉植物・鉢代として)



図書館カレンダー (11月)



11/3(木)文化の日は17時まで開館します!

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



新着図書



この他にもたくさんあります!
貸出中の本には予約ができます。



『世界はさわらないとわからない』	広瀬 浩二郎/著	平凡社
『消防レスキュー隊員が教えるだれでもできる防災事典』	タイチョー/著	KADOKAWA
『なぜ、その地形は生まれたのか?』	松本 穂高/著	日本実業出版社
『漢方薬剤師が教える薬のキホン』	平地 治美/著	日貿出版社
『柿のお菓子づくり』	今井 ようこ/著 藤沢 かえで/著	誠文堂新光社
『60歳からのひとり旅鉄道旅行術』	松本 典久/著	天夢人
『上村松園随筆集』	上村 松園/著	平凡社
『韓国語で読む星の王子さま』	サン＝テグジュペリ/原著 ユウンキョン/訳・解説	IBCパブリッシング
『しろがねの葉』	千早 茜/著	新潮社
『チェルノブイリの祈り』	スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ/著	岩波書店

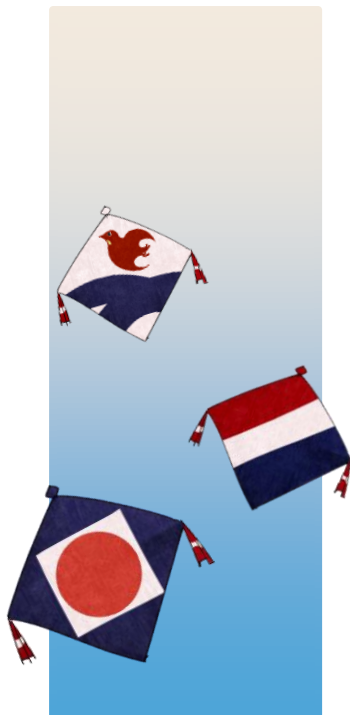
今月の展示



▷ 小説

長崎ゆかりの作家 特集

長崎を愛した作家、長崎ゆかりの人物、
長崎出身の作家、長崎が舞台の小説を
集めました。この機会に是非どうぞ♪



図書館員おすすめの一冊



『サバカン SABAKAN』

金沢 知樹/著 (文藝春秋)

今年の夏に公開された長与町を舞台にした映画の原作小説です。

長崎では話題となり、既に映画を見に行かれた方もおられることでしょう。

当初ラジオドラマにするために執筆されたようですが、お蔵入りとなり、5 話の構想の中の1 話から3 話がこの本に収められています。映画化されたのは、最初の1 話です。

作者は長崎出身で、登場人物にはすべてモデルがいるそうです。本の中の小学生の「僕」は作者がモデルで、「サバカン」のタケちゃん、ヒサちゃん、ご両親やいとこの姉ちゃん、内田のジジィ、隣町の怖いヤンキー、ガンダムなど。

もちろん「サバカン」というのは、あの【サバの味噌煮の缶詰】のこと。

1986 年の長崎の長与町。夫婦喧嘩は多いが愛情が深い両親と弟と暮らす「僕」は、キン肉マン消しゴムが大好き。1 話の目のサバカンは「タケちゃん」とイルカを見るための冒険や突然の別れ、2 話はガンダムの恋、3 話は少年ジャンプとプラネットマン。長崎弁なので感情移入をしてしまい3 話とも、わくわくしながら読み進んでいきました。「兄ちゃんの弟やっけん」というのが口癖の弟のために、知恵と勇気を出して、力を振り絞って頑張る「僕」の成長。

80 年代のなつかしいフレーズに触れ、その頃の自分の思い出と重ねながら読める本です。(N)



▷ 実用書

- ☆ 手づくりで温まろう
- ☆ 芸術の秋を楽しもう！
- ☆ すてきなモノに触れてみる

